

集計作業の自動化で、データ駆動型の基盤を構築

可視化

業務改善

申請事業者：有村歯科・口腔外科（宮崎市）
業種：医療（歯科診療所）

従業員数：12名
設立：2021年



クラウド型の予約システムの導入で、集計作業を自動化し、データ駆動型の経営へ！

取組の概要

導入部門：医院全体
 導入業務：受付業務・診療業務・技工業務
 導入目的：冠製作工程削減、受付業務の軽減
 導入技術：口腔内スキャナ「プライムスキャンコネクト」
 クラウド型予約システム・診察券アプリ「どこでもアポアプリ」
 導入手法：口腔内スキャナとクラウド型予約システム・アプリの導入
 導入費用：¥2,648千円（税抜）

導入前

印象採得手作業によるプロセス

- ① トレー選択
- ② 印象材練和
- ③ 印象採得
- ④ etc...

冠製作の約14工程を院内で作業

導入後

口腔内スキャナによるプロセス

- ① スキャン
- ② データ化
- ③ ラボに送信

3工程に大幅削減！！
（外部技工所依頼）



紙台帳での運用

紙台帳からキャンセル率など手作業で集計

電話連絡業務

キャンセルによる機会損失防止の電話連絡



どこでもアポ

予約データの蓄積により各種統計機能を利用



どこでもアプリ

前日に予約のお知らせをプッシュ通知にて自動配信



取組の背景

- 抱えていた問題点
 - ①口腔内の型取り作業において、戻り作業が発生し、治療時間が長引くことでスタッフの残業が発生していた。
 - ②キャンセルを防止するために実施している、来院前の電話連絡に負荷がかっていた。
 - ③経営上必要な分析を、紙台帳から手作業で集計しており、時間を要するため作業の定着化が進んでいない。
- 解決に向けた課題設定等
 - ①口腔内スキャナを導入し、型取り作業をカメラでのスキャンに置き換えることで、製作工程を削減。
 - ②アプリからの前日プッシュ通知により、電話連絡業務を廃止。
 - ③予約データを自動で蓄積し、集計作業を自動化。

取組の成果

- ・口腔内の型取りにかかる時間を、67%削減
 12時間/月 → 4時間/月
 担当による技術のバラつきもなくなり、戻り作業による患者への負担も解消できた。また、印象材による患者負担への軽減にも繋がった。
- ・電話連絡にかかる時間を、45%削減
 33.5時間/月 → 18.4時間/月
 電話連絡業務がアプリの自動プッシュ通知に置き換わり、受付連絡業務の負荷が軽減された。
- ・キャンセル率などの集計にかかる時間を、95%削減
 20時間/月 → 1時間/月
 日々蓄積される予約データ活用による、キャンセル率や中断患者の傾向を把握できるようになり、継続来院率向上を目的としたデータ駆動型の基盤を構築できた。

センサーと記録ソフトを連携し、記録を自動化

データ連携

可視化

申請事業者：特定非営利活動法人あつたかほーむ愛あい(日向市) 従業員数：71名
業 種：介護事業 設 立：2008年



センサーの設置＋記録の自動化により、利用者のプライバシーにも配慮！

取組の概要

導入部門：介護課

導入業務：夜間見守り業務、排泄記録業務

導入目的：記録時間の削減、夜間巡回業務の削減

導入技術：体動検出センサー「眠りSCAN」、排泄検知センサー「サニタリー利用記録システム」、接続ツール「ほのぼのIoT接続ツール」

導入手法：眠りSCAN、サニタリー利用記録システムで取得した利用者の状態データを介護ソフトに自動で取り込む

導入費用：¥ 2, 5 9 2 千円（税抜）



排泄記録
排泄見守り

排泄の見守り時間削減
AIでの排泄記録



睡眠記録
呼吸記録
離床センサー

夜間の見守り時間削減

介護ソフトに自動転記

記録時間の削減

取組の背景

●抱えていた問題点

- ①夜間の巡回業務が負担となり、その他の業務を行う余裕がない。
- ②排泄介助の際に手が汚れるため、すぐに端末に入力できず記録漏れが発生
- ③利用者のプライバシーに配慮できていない

●解決に向けた課題設定等

- ①睡眠状態を判定するセンサーを導入
- ②センサーと記録ソフトを自動連携
- ③トイレにセンサーを設置し、職員の付き添いをなくす

取組の成果

・夜間巡回業務を、75%削減

スタッフが全居室を見回る時間
1時間に1回(10分×12回) → 4時間に1回(10分×3回)

・排泄介助業務を、50%削減

トイレの付き添いに係る時間 60分 → 30分

・夜間見守り記録、83%削減

介護ソフトに入力する時間 60分 → 10分

3Dデータの作成で、施工の工期を短縮

申請事業者：株式会社高山建設（高原町）
業 種：建設業

従業員数：33名
設 立：1978年



3D施工データを作成することで、設計との比較が容易になり、工期の短縮を実現！

取組の概要

導入部門：土木部

導入業務：施工業務

導入目的：現場作業の効率化

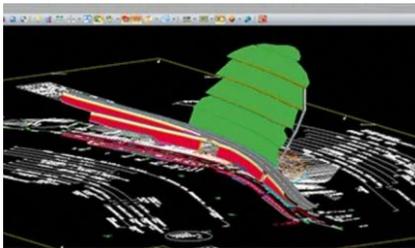
導入技術：三次元データ作成ソフト「SiTECH 3D」

現場作業アプリ「快測ナビ Adv」

測量機「杭ナビLN-150」

導入手法：三次元データ作成ソフトで作成したデータを測量機に連携し、現場測量を行う。

導入費用：¥2,940千円（税抜）



3D施工データ作成ソフト

路線データ、平面図、
閲覧図面、座標データ

連携



測量機

取組の背景

●抱えていた問題点

- ①座標データで測量を行っており、予定外の事象が発生すると再度計算し直す必要があり、工期に変更が生じていた。
- ②現場測量に熟練度の差があり、作業時間にばらつきがあった。

●解決に向けた課題設定等

- ① 3D施工データの作成が可能となることで、リアルタイムで設計との比較ができ、ズレが起こりにくく、手戻りが減る。
- ② 3Dデータを測量機に連携することで、位置の自動計算が可能となり、若手技術者でも作業しやすくなる。

取組の成果

・施工前作業にかかる時間を、50%削減

線形情報データ作成にかかる時間 1現場あたり 10日間 → 5日間

・現場測量にかかる人員を、66%削減

現場で測量を行う技術者 3名 → 1名

・ダンプ手配台数の正確性を、30%向上

土の運び出しに用いるダンプの手配台数の計算
経験者の感覚 → 土量による計算

記録アプリとシステムの連携で、転記の手間を軽減

申請事業者：特定非営利活動法人リノラ未来（都城市）
業 種：福祉業

従業員数：45名
設 立：2001年



音声入力データを記録アプリと請求システムに自動連携し、転記の手間を軽減！

取組の概要

導入部門：生活介護、短期入所、就労継続支援B型事業所

導入業務：支援記録業務

導入目的：支援記録の手書きと転記確認の時間の削減

導入技術：ほのぼのmore「支援記録システム」
記録アプリ「Care Pallet」

導入手法：支援記録を音声で記録アプリに入力し、その情報を請求システムにも連携することで、二重三重の転記の手間を軽減。

導入費用：¥2,478千円（税抜）



取組の背景

●抱えていた問題点

- ①手書きで記録した内容を、ケース台帳と業務日誌に入力しており、非効率だった。
- ②請求システムに入力する前の情報が手書きとなっているため、転記ミスのチェックに時間を要していた。

●解決に向けた課題設定等

- ①記録アプリに音声入力を行うことで、迅速で正確な記録を実現。さらに、支援記録システムにより、自動で転記を行う。
- ②記録アプリと請求システムを連携させることで、チェックの手間を軽減。

取組の成果

・支援の記録にかかる時間を、50%削減

支援記録を手書きし、回送する時間 808時間/月 → 404時間/月

・転記にかかる時間を、50%削減

支援記録の内容を入力する時間 60時間/月 → 30時間/月

・情報共有にかかる時間を、50%削減

電話やFAXで情報を共有する時間 30時間/月 → 15時間/月

撮影した写真の自動紐づけで、帰社後の報告書作成を簡略化

申請事業者：株式会社旭総合コンサルタント（都城市）
業 種：コンサルタント・測量調査業

従業員数：46名
設 立：1976年



写真の自動紐づけ＋スマートグラスでの遠隔指導で、作業負担を軽減！

取組の概要

導入部門：現場調査部門

導入業務：現場調査業務

導入目的：事務作業の簡略化、現場での技術指導の改善

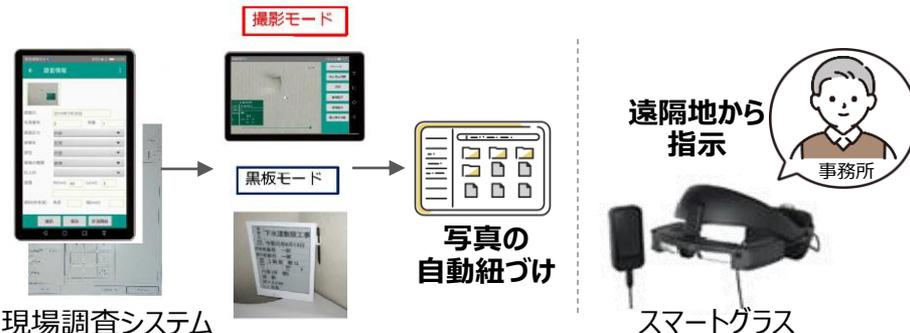
導入技術：現場調査システム「PM_工損」

スマートグラス「BT-45」

遠隔支援用モニター「MAXHUB 9」

導入手法：現場調査システムの撮影機能を使って、撮影した写真の自動紐づけを行う。さらに、スマートグラスを現場で装着し、事務所にいる専門家からリアルタイムで指示を受ける。

導入費用：¥3,003千円（税抜）



取組の背景

●抱えていた問題点

- ①現場から帰社後の写真整理と報告書の作成業務に多くの時間を費やしている。
- ②技術の習得や経験が必要な現場作業が多いが、育成する環境と時間が取れず、成果にバラつきがでている。

●解決に向けた課題設定等

- ①現場でタブレット操作できるシステムを導入することで、撮影した写真の紐づけを自動で行い、帰社後の作業時間を削減。
- ②現場の社員がスマートグラスを装着して、事務所にいる専門家からリアルタイムでサポートを受ける。

取組の成果

・写真整理、報告書作成にかかる時間を、80%削減

現場からの帰社後に写真の整理や報告書を作成する時間
8時間/件 → 96分/件

・現場調査にかかる時間を、55.5%削減

現場調査を行う時間
36時間/件（3名×1.5日） → 16時間/件（2名×1日）

情報を1つのシステムに集約し、入力の手間を軽減

データ共有

ペーパーレス

申請事業者：医療法人 慶和会（日南市）
業 種：医療・介護

従業員数：46名
設 立：1995年



情報を1つのシステムに集約し、誰もがアクセスしやすい環境を構築！

取組の概要

導入部門：入所・通所リハビリテーション
導入業務：介護記録・介護サービス計画書作成業務
導入目的：業務効率化・データ共有化による生産性の向上
導入技術：富士通 介護事業者支援システム
「HOPE LifeMark-WINCARE V3」
「i-MEDIC R4 for WINCARE」
導入手法：ケアプラン作成と保険請求が同時に行えるシステムを導入。各スタッフがいつでも情報を確認できる環境を構築。
導入費用：¥2,810千円（税抜）

導入前



2つのシステムに同じデータを入力



会議のための資料作成が負担に

導入後



システムを一元化し、
全スタッフがいつでもアクセス可能に

取組の背景

- 抱えていた問題点
 - ①ケアプラン作成ソフトと請求ソフトが連動していないため、同じデータを2回入力する必要がある。
 - ②情報が一元管理できておらず、同じ情報をそれぞれが独自で管理している。
 - ③会議のための資料を各スタッフが作成する必要があり、手間がかかっている。
- 解決に向けた課題設定等
 - ①②ケアプラン作成や保険請求業務などを1つのシステムで完結させる。
 - ③利用者の情報を常時システムで確認できるようにすることで、情報共有のための会議が不要に。

取組の成果

- ・二重入力の手間を、**100%削減**
2つのシステムに二重入力する作業 4時間/月 → 0時間/月
- ・入所者の看介護記録の作成業務を、**22%削減**
看介護記録を作成する時間 9時間/日 → 約7時間/日
- ・デイケアの介護記録の作成業務を、**33%削減**
介護記録を作成する時間 3時間/日 → 2時間/日
- ・業務日誌の作成業務を、**50%削減**
入所施設・デイケアの日誌作成にかかる時間 2時間/日 → 1時間/日

3Dデータのリアルタイム共有で、作業時間を削減

データ共有

申請事業者：有限会社 大東建設（諸塚村）
業 種：建設業

従業員数：6名
設 立：1960年



現場の3D化+データのクラウド共有で、作業時間を削減！

取組の概要

導入部門：工事部署

導入業務：製図・測量業務

導入目的：効率改善

導入技術：自動視準測量システム「杭ナビ LN-150」

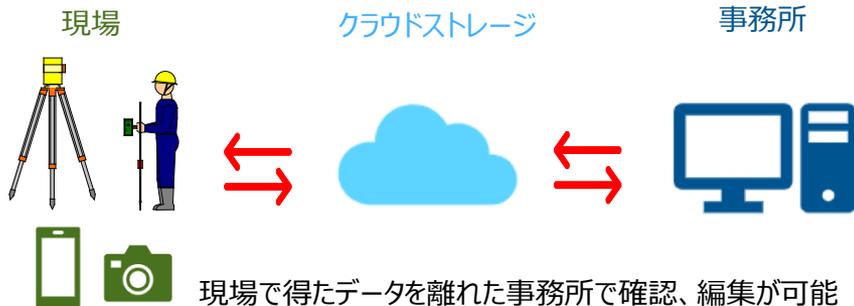
3次元CADシステム「FIELD-TERRACE」

3次元設計システム「武蔵 3次元設計データ作成」

データ共有システム「CIMPHONY PLUS」

導入手法：3次元設計システムで作成したデータを基に測量システムにて測量、各種データをデータ共有システムにてクラウド化し、事務所と現場間でのシームレスな業務を行う。

導入費用：¥2,624千円（税抜）



取組の背景

●抱えていた問題点

- ①測量業務に、2名以上の人員が必要で、手間がかかっていた。
- ②横断方向毎にデータを作成する必要があり、追加のデータ作製に時間を要していた。
- ③データ整理の為に事務所から現場まで移動する必要があった。

●解決に向けた課題設定等

- ①自動視準測量を行い、測量にかかる人員を削減。
- ②3次元設計システムを導入し、現場を3Dで表示することで、データの作成数を削減。
- ③データのクラウド管理によって、どこからでもデータの整理が可能。

取組の成果

・測量にかかる人数・時間を、60%削減

1現場あたり 2、3名×3～6時間 → 1名×1～2時間

・測量データ作製にかかる時間を、66%削減

測量データ作成にかかる時間 1現場あたり 6時間 → 2時間

・現場で得たデータ整理のため帰社する時間を、100%削減

現場から事務所まで移動する時間 1時間 → 0時間

電話音声の自動テキスト化で、報告書作成を廃止

申請事業者：株式会社りんごの里（宮崎市）
業 種：福祉事業

従業員数：44名
設 立：2015年



営業電話の自動ブロック + 音声の自動テキスト化で、電話対応の負担を軽減！

取組の概要

導入部門：有料老人ホーム、デイサービス、訪問看護ステーション

導入業務：電話対応業務

導入目的：営業電話の対応や電話内容の報告書を作成する手間の軽減

導入技術：迷惑電話フィルタ「トビラフォンBiz」

導入手法：システムが自動で営業電話をブロックし、通話を自動で録音・テキスト化を行う

導入費用：¥2,549千円（税抜）



取組の背景

●抱えていた問題点

- ① 営業電話や迷惑電話の対応で、作業を中断することが多く、ミスの起因となっていた。
- ② クレーム対応が長時間に及ぶことが多く、スタッフが電話への恐怖を感じていた。
- ③ 電話内容について、報告書を作成する業務に手間がかかっていた。

●解決に向けた課題設定等

- ① 自動で営業電話やFAXをブロックすることで、電話対応の手間を軽減。
- ② 通話録音を行うことで、電話トラブルを防止。
- ③ 通話内容を自動でテキスト化し、報告書作成が不要に。

取組の成果

・電話対応にかかる時間を、76%削減

毎日の営業電話や迷惑電話にかかる時間 60時間/月 → 14時間/月

・報告書の作成や情報共有の時間を、60%削減

電話内容に関する報告書作成時間
スタッフへ情報共有を行う時間

25時間/月 → 10時間/月

調色作業のシステム導入で、効率化と精度向上

申請事業者：有限会社吉原自動車（都城市）
業 種：自動車整備業

従業員数：1名
設 立：1995年

自動車補修塗装の調色作業支援システム導入で、調色作業のデジタル化を実現

取組の概要

導入部門：自動車钣金塗装業

導入業務：調色作業

導入目的：省力化による生産性向上とコスト削減

導入技術：調色作業支援システム「Dr.ROCK IV クラウドシステム」

導入手法：現車の色を測色計で計測し、その色に一番近い色の配合率をシステムが算出する。

導入費用：¥3,025千円（税抜）

【導入前の調色作業】⇒アナログ作業：時間がかかりすぎていた。



色見本帳で色合わせ



目視で近似色確認



ターゲットカラー配合

【導入後の調色作業】⇒デジタル化：作業の効率化と品質向上に繋がった。



測色計で測色



ターゲットカラー検索



計量配合

取組の背景

●抱えていた問題点

- ①塗料メーカーごとに異なるカラーデータベースが存在し、同じ色でも微妙な違いがある。さらに、光源により色の見え方が異なるため、正確な色合わせが難しく、経験を積むことが不可欠。
- ②調色作業には時間がかかり、結果的にコストが増加していた。特に特殊色やメタリックカラーの場合、調整に多くの時間を要している。

●解決に向けた課題設定等

- ①高精度のクラウドコンピューティング調色システムを導入し、色合わせの精度向上とともに作業時間の短縮を図り、他の業務と併せて回転率を上げる。
- ②使用する塗料やシンナー等のコスト削減を図り、最終的に売上増に繋げる。

取組の成果

(1) 作業時間・納期短縮

- ◆調色作業（一般色）に掛かる時間：
調色回数4～5回/120分→調色回数1～2回/60分⇒**50%削減**
- ◆調色作業（特殊色）に掛かる時間：
調色回数5～6回/24時間→調色回数2～3回/6時間⇒**75%削減**

(2) コスト削減(1ヶ月換算)

- ①材料費：月平均15万円×20% = 3万円削減
- ②労務費：
 - ◆【一般色】時給960円×1時間×4日 = 3,840円/人
 - ◆【特殊色】時給960円×18時間×6日 = 103,680円/人

音声ガイドスの導入で、属人化していた業務を標準化

申請事業者：有限会社佐伯建設（西米良村）
業種：建設業

従業員数：10名
設立：1988年



測量機器の音声ガイドスの活用で、高精度な計測を、誰もがができる業務に！

取組の概要

導入部門：土木部

導入業務：測量業務

導入目的：業務効率改善

導入技術：測量機器「Spectra Geospatial Focus 50」
コントローラー「LANDRiv Pro」

導入手法：測量機器とコントローラーを連動させ、コントローラーの音声ガイドに合わせて操作をすることで、高精度の計測を実現。

導入費用：¥2,750千円（税抜）



測量機器

コントローラー

取組の背景

●抱えていた問題点

・従来の測量機器は操作が複雑なため、操作できる従業員が若手の3名のみとなっており、属人化していた。
さらに、測量作業は2名の人員が必要で、負担となっていた。

●解決に向けた課題設定等

・コントローラーの音声ガイドスにより、簡単な操作で、高い精度の測量を1人で行うことができるようになる。
さらに、測量前に作成したデータを取り込むことで、現場での計算が不要となり、測量の難易度が下がる。

取組の成果

・測量作業の人員を、50%削減

測量作業に必要な人員 2人→1人

・測量の作業効率を、30%向上

操作方法をマスターすれば誰でも高い精度の測量作業が可能

・測点間の移動時間を、75%削減

従来の測量機器の場合、視準側の指示により次点に移動するが、導入機器の場合、次点への距離と方向がコントローラーに表示されるため、無駄のない移動が可能。